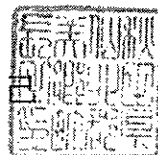


美 発 建 第 2 9 1 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

秋田県仙北郡美郷町長 松 田 知



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

本町の道路行政の推進につきましては、日頃よりご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました、今後の道路行政についての意見・提案の提出について、別紙のとおり回答いたします。

今後とも、市町村幹線道路・生活道路の整備及び冬季交通の確保など、住民の生活に直結した道路事業の推進について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

秋田県 美郷町

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

1. 都市の住宅密集地域や地方の地域的な広がりなど、双方の実態に沿った整備基準による公平な道路行政の推進。
2. 都市と地方との産業経済及び人的交流の促進のため、高速道路ICへの市町村アクセス道路の整備とスマートインターチェンジの導入促進を要望。
3. 市町村独自の基準による幹線道路及び集落内生活道路の整備促進を要望。
4. 美しい景観形成や市街地における道路幅員・交通安全の確保のため、電柱等の埋設工事費の補助率の嵩上げや電気等事業者の負担区分の制度化など、事業に取り組みやすい仕組みの検討を要望。
5. 安全施設としての外側線、中心線などの設置について、道路交付金事業対象とすることを要望。
6. 豪雪地域における地方道路整備臨時交付金の交付割合の嵩上げや、堆雪帯設置部分の補助率の嵩上げを要望。
7. 豪雪地帯での冬期間における地域コミュニティの確保を図るため、歩道等無散水等消雪事業の補助率増嵩と維持管理経費への補助を要望。
8. 豪雪地帯自治体の除雪経費負担軽減のため、機械除雪作業に関わる燃料への軽油取引税の免税制度導入を要望。
9. 道路事業全般における必要性、事業規模、事業費などの情報を、分かりやすく住民に提供し理解を得る必要がある。

○ 現状

1. 美郷町においては国道13号と主要地方道「角館六郷線」をはじめとする県道が産業、経済、文化活動のための重要な基幹道路であり、これらに接続する町道の舗装率は約42.5%に留まっている。町村合併に伴い、地域交流の促進、利便性・安全性の確保のために幹線道路へのアクセス道の整備、生活道路の整備など全町均一的な道路網の形成が求められている。また、交通弱者のための歩道整備も求められている。
2. 美郷町は県内有数の豪雪地帯であり、安全な冬季交通の確保は町民の暮らしを守るうえで最も重要な課題である。このため、雪に強い道路整備とともに、除雪機械の確保により除雪体制に万全を期す必要がある。また、消雪、融雪、流雪施設の適正な維持管理を図る必要がある。
3. 市街地における狭隘な道路については、用地の確保や移転補償の関係から拡幅は不可能である。このため、電柱等の埋設工事による幅員、安全性の確保と美しい街並みの景観形成が必要である。

○課題

1)について

- ・ 町整備計画道路については、単独事業としての実施は不可能である。
- ・ 財政が逼迫している状況の中では地方道路臨時交付金事業などの補助事業などに頼りしかない。
- ・ 地方道路臨時交付金事業については、要望した事業費の約70%に留まっており、計画のとおり事業が進捗しない。
- ・ 延長の短い集落内の生活道路などは、道路交付金事業の対象とすることが難しい。

2)について

- ・ 道路整備や歩道整備の進捗とともに除雪必要路線の延長が増えているが、補助事業では除雪機械の導入台数が決まっている。
- ・ 軽油などの燃料の高騰により除雪経費が高くなっている。
- ・ 消雪、融雪、流雪施設の完成後の維持管理費も必要である。
- ・ 消雪、融雪の地下水が不足し十分に対応できない。

3)について

- ・ 電柱等の地下埋設については、事業単価が非常に高く補助率の嵩上げがなければ事業実施は不可能である。

②ー2 地域の目指すべき将来像

秋田県 美郷町

美郷町においては、国道13号と主要地方道「角館六郷線」をはじめとする県道が重要な幹線道路となっており、これらは高速秋田道へ接続する産業、経済、地域間交流や文化活動を図るうえでも重要な幹線道路である。

町では、これらの道路を基本に「美郷町地域の交流を促進するネットワークづくりと冬期間での安全な道路整備」を基本に、町民の各自宅から「主要公共機関(施設)や隣市の医療機関などへの20分以内到達」を目標に掲げ、①幹線道路及び幹線道路へのアクセス道の整備については、各施設への到達時間の縮減を図りながら、住宅が隣接する地域においては堆雪帯を設け、冬期間でも安心して通行できる道路整備を目指す。②集落内生活道路の整備については、100%の舗装化を目指す。③歩道については、通学指定路線を中心に歩車道分離又は歩道帯設置を含め整備促進を図る。④雪対策については、住宅密集地の融雪、消雪施設の整備と、効率的な除排雪作業を行うための体制を整備するとともに、全町の均一的な道路網の形成、整備促進を図りながら、美郷町の将来像の「町民だれもが住んでよかった、住みつづけたいと思えるまち」の実現を目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

秋田県 美郷町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・高齢化社会に対応した生活環境の整備 ・地域交流を促進するネットワーク作り	・一人暮らしや高齢者世帯の増加に伴い、狭隘な住宅に連絡する道路では緊急車両が通行できる幅員の確保や冬期間の交通確保が必要になっている。高齢者では除雪に対応ができない。また、町においても財政的に厳しい状況で対応が難しい。 ・合併後の地域交流促進や均一的な道路網の整備を図り、主要公共施設、医療機関等への到達時間20分以内を目指す。	・補助事業対象となることで、町においても道路整備が容易に実施できる。その結果、冬季交通も十分確保でき、緊急車両の通行にも支障がなくなる。 ・老人世帯が安心して日常生活を送ることができる。 ・合併後の広がりを持った地域の交流促進や公平性、一体感を醸成することができる。	・高齢世帯や一定の条件を満たす世帯へ連絡する道路整備を補助対象とするよう要望したい。 ・地方道路臨時交付金事業の目標として設定している。